

グローバル事業

インドを起点としたユニークなグローバル展開の進化

当社がペイメント事業・ファイナンス事業に次ぐ「第三の柱」として位置づけているグローバル事業は、2014年に本格始動してから展開国や事業モデルを模索しながら10年間挑戦を続け、利益創出の確度を高めてきました。

現在はインド・東南アジア・ラテンアメリカ地域を中心に、ファイナンシャル・インクルージョンの実現を目指した事業展開を行っています。

2023年度の部門別事業利益におけるグローバル事業利益は24億円、割合にしてわずか3%でしたが、2026年度に目指す1,000億円の事業利益目標における同利益は200億円、全体の20%を占める割合まで成長すると見込んでおり、事業成長のさらなる加速と事業発展を進めています。



新中期経営計画で目指す姿

当社はグローバル事業をスタートした当初より、十分に適切な金融サービスが受けられない人々や企業(アンダーサーブド層)に対するファイナンスサービスの提供によるファイナンシャル・インクルージョンの実現に取り組んできました。

新中期経営計画(以下、新中計)ではこれまで培ったノウハウ、海外各国の人的リソース・ケイパビリティを水平展開し、既存・新規進出国の事業拡大を推進しながら、2026年度事業利益200億円の達成を目指します。



成長を担うインド事業

2019年に事業を開始したインドのKisetsu Saison Finance (India) Pvt. Ltd. (以下:Credit Saison India)は、高い市場成長とデジタル化を背景に、着実に事業を拡大しています。コロナ禍においても現地主導・デジタル主導によるシステムの内製化やリスクマネジメントの強化を進め、わずか5年で現地ノンバンク・FinTech事業者から「選ばれるレンダー」として業界でのポジションを確立するまでに成長しています。

インド全土での支店開設や非金融事業者との提携による個人・中小零細企業向けの貸付(ダイレクトレンディング)が成長ドライバーとなり、2024年6月末の債権残高は約2,600億円となりました。

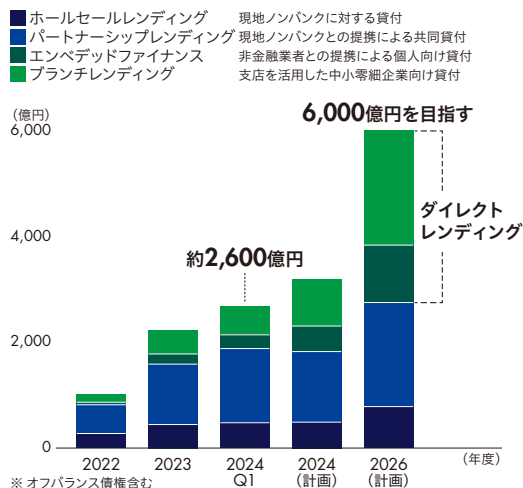
債権残高6,000億円を目指す

新中計の最終年度となる2026年度には、債権残高6,000億円、事業利益200億円を目指します。また支店数、提携先数の拡大に加え、商品の多角化を通じた新たなマーケットの獲得や顧客へのクロスセル・アップセルにより、収益性の向上も図ります。今後も事業を推進しながらリスクバランスをコントロールすることで、環境の変化に耐えうるレジリエントな事業の構築を進め、将来的には時価総額1兆円規模、インド国内トップ10のファイナンス企業を目指します。

全土21都市に45の支店を設置



債権残高は着実に拡大



2023年度ハイライト

2023年度はCredit Saison Indiaにとって飛躍の年となりました。中小零細企業向けの有担保ローンの開始や提携先の拡大によりダイレクトレンディングが拡大し、債権残高は2023年3月末から2024年6月までに2.5倍へと伸長しました。また現地銀行への貸付債権の流動化も進めており、収益性の向上とともに資産の効率化を図っています。

株式会社みずほ銀行からの出資受け入れ

2024年3月、株式会社みずほ銀行を引受先とする第三者割当増資を実施しました。同社とのパートナーシップによりガバナンス面においても強固な体制を築き、より安定的で透明性の高い事業運営を進めています。



CEOインタビュー



Kisetsu Saison Finance (India) Pvt. Ltd. CEO
Presha Paragash

200 Oku-yenに向けて

設立からわずか5年で当社は急成長を遂げ、債権残高ベースで国内トップ50、インドでは12社しかいない格付AAA*を持つノンバンクとなりました。こうした取り組みに加え、リスクを重視した運営、盤石な資本基盤、そしてテクノロジー主導という当社のDNAにより、革新的な金融ソリューションを提供することでポジティブ・インパクトを生み出すというミッションを推進しています。

(株式会社みずほ銀行からの出資は、これまでの実績を評価していただいたと同時に、将来の成長への強い信頼の表れだと考えています。

今後さらに各事業の拡大を加速させるとともに、両社によるシナジー効果も追求していきます。そして新中期経営計画における事業利益200億円の目標を着実に達成すべく、厳格なリスクマネジメントを維持しつつ新たな成長機会への投資を継続し、将来的な「インドトップ10のノンバンク」に向けて前進を続けます。



* インド格付会社CRISILより長期格付として取得

提携先パートナーを招いたパーティーにて

ラテンアメリカ地域での事業開始

2023年初めに設立したCredit Saison Brazil Participações Ltda. および Credit Saison Mexico S.A. de C.V., SOFOM, E.N.R.は、現地FinTech事業者との提携や債権ファンドの活用を通じ、現地マーケットに適したファイナンスサービスを展開しています。同年10月には両社にて株主割当増資を実施、中長期を見据えた両国へのコミットメントとして多くの現地メディアにも取り上げられました。今後もインド同様段階的に事業を発展させながら、現地主導による事業拡大と基盤構築を進めていきます。



グローバル事業における社会的インパクトの取り組み

当社はグローバル事業の発足当初より、新興国におけるアンダーサーブド層への金融サービスの提供を通じた社会的インパクトの創出を推進してきました。2023年は人員を増強し体制強化を図りつつ、2024年度に新設したサステナビリティ推進部との密な連携により、グループ一体での取り組みを推進しています。また昨年創刊したインパクトレポートの内容を更に充実させ、2024年版を発刊いたしました。



ANNUAL IMPACT REPORT 2024 (英語版)

<https://saison-international.com/wp-content/uploads/2024/10/impact-report-23Oct.pdf>

[インパクト投資のゴール]

<p>GOAL 01</p> <p>中小零細企業の潜在的な成長力と経済機会を引き出す</p>		<p>GOAL 02</p> <p>十分な金融サービスを受けていない個人および世帯の生活向上</p>	
---	--	---	--

インパクト・フレームワークの導入

シンガポール、インドに加え、新たにブラジル、メキシコの子会社に共通のインパクト・フレームワークを導入しました。融資先の選定からエグジットに至る融資サイクル全体にインパクト戦略を組み込むことで、ポジティブ・インパクトの最大化を目指します。

利用者の声

子どもたちに学習機会を提供するGALAXY KIDS NURSERYでは、Credit Saison Indiaの融資により、子どもたちが語学やプログラミング等のさまざまな教科を学ぶことが可能となり、学習の幅を拡大することができました。



インベストメント事業 – 海外CVC

Saison Capital Pte. Ltd.およびSaison Crypto Pte. Ltd.は、シンガポールを拠点にインド、東南アジア、ラテンアメリカ地域などのFinTechやBtoB、eコマース、そしてReal World Asset (RWA)やDecentralized Finance(分散型金融)といったWeb3分野における有望なスタートアップへの投資を行っています。

グローバルにおける“SAISON”ブランドの構築

イベントの主催や世界各地で開催されるさまざまな会議・メディア出演などを通じて、グローバルな投資家としての認知度向上を図っています。

2024年4月には投資先企業と共同で、アジア初となるRWAのイベント「ONCHAIN」をバンコクにて開催。同分野、そして金融資産のブロックチェーンの活用におけるパイオニアとして、業界を牽引しています。



ラテンアメリカ地域でのネットワーク拡大

レンディング事業で構築したネットワークを活用し、ラテンアメリカ地域での投資活動を開始しました。市場のインサイトや当社子会社とのシナジーを追求しつつ、現地のアーリーステージに特化したベンチャー・ファンド等への出資を進めています。

また2024年6月にはブラジルにて投資家フォーラムを開催し、50以上のベンチャー・キャピタル・ファンドとの面談を実施するなど、当社の同地域におけるプレゼンスの向上に貢献しています。



投資先へのハンズオン支援

資金調達をサポートをはじめ、提携先の紹介や当局とのリレーション構築、新規国への進出など、投資先企業に対し多岐にわたる支援を行っています。

インドネシアの投資先であるPT Skortech Karya Indonesiaにおいては、投資家の紹介や事業支援等を行い、資金提供にとどまらない包括的なサポートにより他社との差別化を実現しています。